

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年2月27日
北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
五泉市 地域公共交通活性化協議会	泉観光バス(株) みどりハイヤー(株)	ごせん乗合タクシー「さくら号」(五泉東エリア)	市内の公共交通に関する情報について、市の広報紙やパンフレット等の印刷物を利用し、地域間幹線系統や、その他の公共交通との接続について周知を行い、利用促進に係る啓発を推進した。	A 計画通り事業は適切に実施された	B 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、97.2%であり、目標を達成できなかった。 主に60代・70代の高齢者の利用減、および20代等の特定利用者(ヘビーユーザー)の利用終了、また、暖冬の影響等が理由と考えられる。	さくら号の導入以降、27年度までは、右肩上がり利用者が増加していたが、当該28年度から利用者が初めて減少した。 今後は、新規利用者の開拓のため、主に高齢者を対象とした地域の茶話会(お茶の間サロン)等を利用し、事業内容や利用方法について啓発活動を行う。	前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況、事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって進めるよう期待する。
	(有)フラワー観光バス(株) みどりハイヤー(株)	ごせん乗合タクシー「さくら号」(五泉西エリア)		A 計画通り事業は適切に実施された	A 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、102.4%を達成した。	今後も利用者数を維持するため、促進に係る啓発等を推進していくとともに、利便性の向上に努める。	前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況並びに事業実施の適切性及び目標・効果達成状況については自己評価のとおりである。 なお、利便性の向上については昨年から引き続き事業の今後の改善点として挙げられているが、さらなる実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
五泉市地域公共交通活性化協議会	泉観光バス(株) みどりハイヤー(株)	ごせん乗合タクシー「さくら号」(村松エリア)	市内の公共交通に関する情報について、市の広報紙やパンフレット等の印刷物を利用し、地域間幹線系統や、その他の公共交通との接続について周知を行い、利用促進に係る啓発を推進した。	A 計画通り事業は適切に実施された	C 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、89.9%であり、目標を達成できなかった。 主に60代以上の高齢者の利用減、および学童保育利用者の利用終了、また、暖冬の影響等が理由と考えられる。	さくら号の導入以降、27年度までは、右肩上がりで利用者が増加していたが、当該28年度から利用者が初めて減少した。 今後は、新規利用者の開拓のため、主に高齢者を対象とした地域の茶話会(お茶の間サロン)等を利用し、事業内容や利用方法について啓発活動を行う。	前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況、事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって進めるよう期待する。